

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	高齢者福祉施設整備事業	会計	一般会計	事業No.	196	施策順No.	35-007
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-4-10-11		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			介護高齢課		
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	20	終了	22	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市の高齢者					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		65歳以上の高齢者数							29020	29440	29677	29523	
	意図	市内どこに住んでいても、安心して暮らせるサービスを提供する。											
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		公設デイサービスセンターの設置数					9	9	9	10	10	10	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	千代デイサービスセンターの開設により、他地域のデイを利用していただいていた高齢者の移動負担が軽減されるとともに、高齢者の孤立化を防止し、介護の充実、サービスの提供に当該センターが地域福祉の拠点としての役割を担うことができる。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	特別養護老人ホーム等建設補助事業から分割。千代地区高齢者福祉施設について公設民営で整備を行う。 20年度は 9月補正で基本設計費を計上 21年度は、実施設計。22年度に建設を行った。 千代地区の福祉の拠点施設として、平成23年4月から指定管理者社会福祉法人千代しゃくなげの会による運営開始。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 10月入札、11月-3月工期で建設。3月末竣工。23年4月開所 食堂・機能訓練室、交流ホール、静養室、相談室、和室、機械浴室、個別浴室等 利用者の気持が和む木を基調とした建物。太陽光発電、雨水利用などのエコシステム、照明設備の一部にLEDを導入。 ・敷地面積:3,236㎡、・構造:鉄骨造平屋建、・延床面積:330.57㎡、・建築面積:372.67㎡ ・定員15人	(1)本体建築、機械・電気設備工事 (2)延床面積 (3)定員	(1)一式 (2)330.57㎡ (3)15人
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 21→22繰越明許費120,000千円 (国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金118,041千円 (国)地域介護・福祉空間整備推進交付金3,000千円
		県支出金	123,000	121,041		
		起債				
		その他				
		一般財源		34,233	28,673	
	計 (A)		157,233	149,714	0	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			0		
	トータルコスト A+B			149,714		

4 事業に対する市民や議会の意見

千代地区・上久堅地区からは通所介護施設の設置要望がある。
------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	安心していきいき暮らせる	施策の成果指標又はムトス指標	安心して暮らせている高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・高齢化が進む千代地区において福祉の拠点となる施設を整備したことで、今後も高齢者が地域で安心して暮らしていく体制づくりの一環をこの施設が担うことができる。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・太陽光発電パネルやLED照明の設置など環境に配慮した設備を整えたことで、低炭素社会実現に配慮した施設となった。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・三遠南信自動車道整備に伴う残土を建設用地整備に活用。地域活性化・きめ細かな臨時交付金、地域介護・福祉空間整備事業補助金(国庫補助)を活用。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・高齢者福祉施策の一環として取り組んできた事業。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①建設を推進してきた千代地区まちづくり委員会、施設運営に携わる(社)千代しゃくなげの会 ②建設推進に向けた支援、施設運営は(社)千代しゃくなげの会を指定管理者とし管理運営に関する基本協定を締結。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	千代地区からの要望を受け、社会福祉関係施設を整備したことで、地域の高齢者が地域にある通所介護サービスを受けることができる。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------